

## 福島市公設地方卸売市場再整備事業に係る施設整備・運営事業者等選定アドバイザー業務事業者選定プロポーザル

### 【審査講評】

福島市公設地方卸売市場では、喫緊の課題である建物・設備の老朽化や卸売市場を取り巻く環境の変化に対応し、今後も持続的に安心安全で新鮮な生鮮食料品等を消費者へ安定供給していくため、PPP/PFI事業方式により再整備を進めており、施設規模の適正化、市場機能の高度化・強化、余剰地活用による市場の活性化等を主な方針としている。

この「公設地方卸売市場の施設整備・運営事業」及び「余剰地の利活用による民間収益事業」（両事業を合わせて、以下「本事業」という。）を実施するにあたっては、専門機関より適切なアドバイスを受け、適正かつ円滑に事業者の選定及び契約業務を行う必要があることから、PPP/PFI事業及び公共施設整備事業に関する幅広い知識と経験、高度な専門能力を有する事業者を本アドバイザー業務事業者として選定するため、公募型プロポーザルを実施することとした。

本プロポーザルには、募集公告に対して2者からの参加表明及び技術提案書の提出を受けたのち、適格であることを確認したうえ、全2者に対してヒアリングを要請した。

本プロポーザルの審査項目は、特定テーマとして、「テーマ1 アドバイザリー業務実施にあたっての実施体制について」、「テーマ2 『市場機能の高度化』と『市財政負担の軽減、使用料削減』との両立について」、「テーマ3 余剰地の利活用における民間事業者の優れた提案を最大限引き出すための方策について」、「テーマ4 民間のノウハウを活かした持続可能な施設運営について」の4項目とした。

ヒアリングを要請した2者からは、ともに実績に基づいた十分な業務実施体制を見込むことができたほか、提案内容は卸売市場の現状を十分に理解した高度なものとなっていた。

特定テーマに対する提案では、『市場機能の高度化』と『市財政負担の軽減、使用料削減』との両立の観点からどのように事業費を圧縮していくか、「余剰地の利活用や持続可能な施設運営に向けてどのように民間事業者からより良い提案を引き出していくことができるか」等について、各者が特色ある提案をしており、それぞれに評価すべき点があった。

今後は、最優秀者の技術提案を基に協議を重ね、本事業の実施にあたり適正かつ円滑な事業者の選定及び契約業務を行うことで、再整備による施設規模の適正化、市場機能の高度化・強化、余剰地活用による市場の活性化等を期待するものである。

最後に、応募された2者には、本プロポーザルの趣旨をご理解いただき、卸売市場に関する深い知見と本市場に関する理解を前提に真摯な提案をいただいたことに、深く感謝を申し上げ、講評とする。

令和6年9月27日

福島市公設地方卸売市場再整備事業に係る施設整備・運営事業者等選定  
アドバイザー業務事業者選定審査委員会

## 【各提案に対する講評】

### ◎最優秀者

受付番号：2番

提案についてポイントを絞ったわかりやすい説明がなされ、委員からの質問への回答も的確であった。

「テーマ1 アドバイザリー業務実施にあたっての実施体制について」では、十分な実績に基づいた充実したバックアップ体制が示されており評価できた。

また、「テーマ2 『市場機能の高度化』と『市財政負担の軽減、使用料削減』との両立について」では、知見やデータの活用が示された具体的な提案となっていることや、場内事業者の目線も考慮している点が評価できた。

さらに、「テーマ3 余剰地の利活用における民間事業者の優れた提案を最大限引き出すための方策について」における、サウンディングへの全面協力や地元金融機関との連携への言及や、「テーマ4 民間のノウハウを活かした持続可能な施設運営について」における現在の市場運営体制についての理解度の高さが評価へとつながった。

全体的に、福島市公設地方卸売市場の現状を踏まえた再整備事業に対する高い意欲とそれに伴う各テーマへの理解度の高さ、取り組みへの積極性とより具体性が感じられた提案内容であった。

総得点 72点

### ○次点者

受付番号：1番

提案者からは、課題に対して堅実に取り組もうとする姿勢が感じられ、委員からの質問への回答も丁寧かつ真摯なものであった。

特に、「テーマ4 民間のノウハウを活かした持続可能な施設運営について」において、今後の重要課題であるDXの推進についての的確な言及がなされていることや、要求水準に対応した提案内容の評価基準を明確化し、再整備のテーマである販路拡大や取引増加に向けたマーケティング戦略の提案などによる市場関係者への支援業務に関してより良い提案を引き出そうとしている点などが評価できた。

全体的に、卸売市場業界の潮流を的確に捉えたうえで、市側の意向を踏まえた堅実な方策により再整備に取り組む姿勢を見て取ることができた一方で、やや具体的な手法への言及に欠けている面も見受けられた。

総得点 57点